(一)　平成22年9月1日　(昭和二十五年八月十日 第三種郵便物認可)　いさお新聞　毎月一日発行　(1145)

われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

硫黄島遺骨収集予算、特別枠で大幅増額要求

財務省は八月三十一日、各省庁からの来年度当初政府予算の概算要求を締め切った。各府省から提出された一般会計の概算要求額は、本年度当初予算に比べて四兆四千四百七十三億円多い九十六兆七千四百六十五億円となり、概算要求段階で本年度要求（九十六兆三百八十億円）を上回り過去最大。

政府は七月末に決めた概算要求基準で、政策的経費を本年度予算比で一律一割削減する方針を示し、各府省が一割を超えて減らせば特別枠により多くの予算を要望できる仕組みを取り入れたことから、過去最大の概算要求額になった。今後は「政策コンテスト」などで特別枠を絞り込み、最終的に国債費などを除いた歳出を本年度当初予算並みの七十一兆円以下に抑える方針である。

遺族会関係では、戦没者慰霊事業関係費が本年度予算に対し十三億二千九百万円増額され、内、硫黄島関係経費特別要望枠（遺骨収集、慰霊巡拝関係費）が、本年度予算比で約九倍の十五億五千九百万円と菅総理の意向を反映して大幅に増額要求されている。

日本遺族会では十二月十六日に全国大会と国会陳情を計画、本県は十一月二十八日に県大会を開催するが、各支部遺族会においても、遺族処遇改善に関する要望事項が来年度政府予算に完全計上される様、特段のご尽力をお願いしたい。

平成23年度遺族処遇改善概算要求項目

1．恩給法関係

総務省人事・恩給局は、恩給を支給するための必要経費として次のとおり概算要求を行った。

◎恩給支給に必要な経費　（単位：百万円）

		概算要求額	比較増減
本年度予算額 678,344	→	626,463	△ 51,881
		（6,264億6,300万円）	
内訳			
①恩給費 676,156	→	624,563	△ 51,593
②支給事務費 2,188		1,900	△ 288

㈱　恩給費の比較増減の内訳は
＊平成22年度恩給改定措置の平年度化による増　5億7,800万円
＊恩給受給者の減少（△62千人）による減　△521億7,100万円
計　515億9,300万円

2．厚生労働省関係

厚生労働省社会・援護局から提出された概算要求は、恩給に関連する遺族年金等のほかは次のとおりです。

⑴遺骨収集等関係

本年度予算額		概算要求額
8億7,400万円	→	22億1,900万円
内、硫黄島関係経費特別要望枠		15億5,900万円

《主な内容》
①遺骨収集地域（13地域）
フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、パラオ、インドネシア、インド、沖縄、硫黄島、モンゴル、ザバイカル地方、アムール州、沿海地方、イルクーツク州
②海外未送還遺骨情報収集事業
③慰霊巡拝地域（12地域）
フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、パラオ、インドネシア、中国、モンゴル、硫黄島、ハバロフスク地方、グルジア、アムール州、沿海地方
④慰霊碑補修調査（２カ所）
ミャンマー、インド
⑤戦没者慰霊碑維持管理（15カ所）
⑥遺骨、遺留品の伝達
⑦戦没者遺骨に係るＤＮＡ鑑定

⑵戦没者遺児による慰霊友好親善事業

本年度予算額		概算要求額
3億3,400万円	→	2億8,500万円
（内　訳）		
①地域　14地域	→	14地域
②人員　900人	→	792人及び小規模地域 108人
内、①洋上慰霊経費 1億5,400万円	→	0円
②民間建立慰霊碑整理事業 1,900万円	→	1,300万円

⑶千鳥ケ淵戦没者墓苑納骨室の増設（設計費等）

本年度予算額		概算要求額
0円	→	3,900万円

⑷昭和館の運営費

本年度予算額		概算要求額
4億4,300万円	→	4億2,900万円

⑸全国戦没者追悼式の挙行経費

本年度予算額		概算要求額
1億3,200万円	→	1億3,300万円

（１県当たり国費参列者50人の2,350人）

全国の戦没者遺児が母に感謝し心を込めて建立した「母の像」

井原市芳井町下鴫
三島正樹
（元岡山県遺族連盟青年部長）

昭和四十九年、「父亡き後、多くの子供を抱えて苦難の末にここまで育ててくれた母、終戦当時のあの母の姿を銅像にして父親が合祀されている靖國神社に建立しようではないか」と、日本遺族会青年部長会議に於いて「母の像」建立が決定され、全国各都道府県の青年部長が塑像の原案を持ち寄ることになりました。私が「母の像」の建立の総てに携わることの始まりです。

当時、日本遺族会青年部中央執行副委員長の立場にありましたが、私自身、彫刻家とは面識もなく、私がまさか「母の像」の建立に携わるなど夢にも考えたことはありませんでした。偶々、叔父にこのことを話したのが、「母の像」の制作者・彫刻家の宮本隆先生との出会いのきっかけでした。

叔父である大塚利一氏は父の同級生で、山陽印刷株式会社の社長を務められ、私も叔父の会社によく出入りしていました。その叔父の紹介で早速、宮本先生を訪ねました。先生に「母の像」制作の趣旨を説明させていただきましたが、先生からも快諾を賜り、出来上がった塑像を日本遺族会青年部長会議に持参、全国から寄せられた塑像の中から宮本先生の塑像が最終原案に決まりました。

いよいよ宮本先生に制作をお願いすることとなり、宮本先生と大塚社長、そして私の三人で岡山県護國神社に参拝。当時の小笠原宮司に建立の無事成功を御祈念していただき制作に取り掛かる準備を調えました。

「母の像」の制作中には、私や大塚社長、岡山県遺族連盟の伊藤大孝会長、日本遺族会青年部中央執行委員長の国松善次君（後に滋賀県知事）や青年部の役員も度々、宮本先生のアトリエを訪ね、像の完成を見守ったことが思い出されます。

そして、真黒な粘土の「母の像」が完成。二m十cmの「母の像」を見上げた時の感動は一入のものがありましたが、その後、〝石膏取り〟が行われ、眩いばかりの純白の姿を現した時は、居合わせた者一同、又々感激いたしました。私の瞳の底に現在もその姿がしっかりと残っております。

明けて昭和五十年（一九七五年）、白い石膏像であった「母の像」は靖國神社の現在の位置に銅像となって建立されました。私たちの様な遺族を二度と作らないため、永遠の平和のシンボルとして、全国の遺児たちの父と共に靖國神社の境内にお祀りされています。

一方、「母の像」の台座に掲げられた碑文も、全国の遺児から作品が寄せられた中から、名誉にも私の文が一部修正の後、採用となり、岡山県井原市高屋町在住の遺児・山本琳子さんに揮毫していただきました。

また、靖國神社境内の建立場所については、香川県出身の靖國神社権宮司・池田様の並々ならぬ御配慮の賜であったこと、更に、「母の像」の台紙付写真を、大塚社長のご配慮により全国の遺児の皆様にお届けできたことを申し添えなければなりません。

現在、岡山県護國神社に建立されている「母の像」は、「靖國神社と同じ像を護國神社にも」と、県婦人部の皆様方の強い要望があり、宮本先生から岡山県遺族連盟へ御寄付いただいた原型石膏像を、青年部が中心になって福山市の美術商に依頼、高岡市の鋳物工業社で製造した像で、「子供たちもすくすくと成長しております」と、父が合祀されている本殿に向かって鳥居正面に建立されています。

岡山県護國神社に建立されている「母の像」

「碑文」　強くきびしく／やさしかった母／おかげで私がある／お母さんありがとう／私たちのかなしみが／くりかえされることの／ないように

◎靖國神社「母の像」建立経費
一六、八〇〇、〇〇〇円
（内、台石
四、五〇〇、〇〇〇円）

◎岡山県護國神社「母の像」建立経費
二、五〇〇、〇〇〇円
（内、台石
一、〇〇〇、〇〇〇円）

皇居内濠を望む静かな九段
ご婚礼／宴集会／ご宿泊／お食事
ご予約・お問合わせは 九段会館
宿泊予約係まで ☎03（3261）5521
〒102-0074　東京都千代田区九段南1―6―5
http://www.kudankaikan.or.jp

「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝参加者募集

岡山県遺族連盟では毎年、県補助事業として沖縄県糸満市の摩文仁の丘に建立されている「岡山の塔」前において、「沖縄並びに南方諸地域岡山県出身戦没者追悼式」を執り行い、先の大戦で戦没された本県出身戦没者ご英霊の冥福をお祈りすると共に世界平和希求をお誓い申し上げています。

戦後65年の節目にあたる今年は、下記の追悼式・巡拝日程表のとおり、来る11月12日(金)～11月14日(日)の２泊３日の日程で沖縄県の「岡山の塔」を訪問し、苛烈な戦いの中で散華された戦没者ご英霊を皆様方と共にお慰めしたいと存じますので、是非ご参加を賜ります様ご案内申し上げます。

月　日	巡　拝　日　程	宿泊先
11／12(金)	岡山林原駐車場又は岡山空港集合 ～ 岡山空港発（9：30） ジェット機 那覇空港着（11：25） ～ 那覇市内(昼食) ～ 沖縄県護國神社参拝 ～ 旧海軍司令部壕 ～ 守礼の門・首里城公園 ～ 宿舎着（16：30頃）	那覇市 ロワジールホテル那覇
11／13(土)	宿舎発（8：00）～ 摩文仁 … 沖縄平和祈念資料館 ～ 国立沖縄戦没者墓苑参拝 …「岡山の塔」岡山県出身戦没者追悼式 … 平和の礎 ～ ひめゆりの塔参拝(昼食) ～ 沖縄北IC ～ ビオスの丘（シダ林の遊覧船）～ 宿舎着（16：30頃）	恩納村 沖縄サンマリーナホテル
11／14(日)	宿舎発（9：00）～ 万座毛 ～ 恩納海岸 ～ 御菓子御殿 ～ 琉球村(昼食) ～ 米軍嘉手納基地を望む「道の駅かでな(資料館)」～ 沖縄南IC ～ 那覇空港発（16：20） ジェット機 岡山空港着（18：15）～ 岡山駅前（19：00頃）	

◎参加経費　47,000円也（但し、補助対象者お一人経費）
＊補助対象者／戦没者遺族（但し、戦没者一柱につき１名が補助対象となります）
上記以外の方は10,000円の追加経費でお受けいたします。

◎申込方法　＊参加者の住所、氏名、年令、性別、戦没者との続柄、電話番号、集合希望場所（岡山林原駐車場か岡山空港）、＊戦没者の氏名、戦没場所 ── 以上の事項を明記し下記までお申し込み下さい。
〒703－8272 岡山市中区奥市3－22「岡山県遺族連盟」TEL 086－271－7175／FAX 086－271－4815

◎経費送金　郵便振替をご利用下さい。(振替番号) 岡山 01230－9－3532　財団法人岡山県遺族連盟

◎申込締切　10月20日(水)までに　　◎募集人員　60名

◎そ の 他　①集合時間など詳細については日程が確定次第、参加者の皆様にご案内いたします。
②上記の日程は交通機関等の都合により変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

幸に御安心あれ

陸軍歩兵上等兵　小山　寅右エ門
昭和六年九月二十五日
満州奉天省奉天付近にて戦死
長崎県西彼杵郡喜々津村出身
二十二歳

昭和六年九月十八日、満洲事変突発し、所属聯隊（歩兵第七十八聯隊）に出動の命令下り、翌日正午龍山駅を出発したが、新義州に於て待機中、小山上等兵は家郷の父に左の短信を寄せた。

日頃鍛へし軍人精神の発揚に努め、
天晴れ帝国軍人として君国に身を捧げ、
決して一家一村の汚名をとるが如き
卑怯の振舞なすまじく、
幸に御安心あれ。

右の書信は九月二十四日父幸助氏の許に到着した。翌二十五日早朝こそは上等兵が護国の鬼と化した日である。

（『満洲事変忠勇美談』より）
（原文のまま）

【平成二十二年九月　靖國神社社頭掲示】

大戦にささげし兵の碑(いしぶみ)の
かたへに咲ける一輪草かな

英霊が眠りし墓地の草取りも
老いて奉仕の出来る慶び

その昔遠足で来たこの墓地で
陸軍の華成れと教わる

岡山市北区吉宗　久山　泰一

一度は「オヤジ」と呼びたかった

千葉県松戸市
橋本　勲
（津山市河辺出身）

親父、次男の勲です。今日は私たち兄弟を代表してお参りに来ました。悲願だったこの地を訪れることができ嬉しく思っています。美しい故郷の空、そして母や私たちを思いながら帰郷を待ち望んだ親父。それも叶わぬ夢となり、さぞかし心残りであったことでしょう。親父の気持ちを思うと涙が溢れ心が痛みます。

一番お参りをしたかったのは母だったと思います。親父の帰りを待ち望みながら、あの戦後の貧しい暮らしの中でも愚痴ひとつ言わず、黙々と働いて私たち兄弟四人を立派に育ててくれました。今更ながら、母の偉大さに驚き感謝しています。

その母も、父の思い出を胸に六年前にそちらの世界に旅立ちました。この春、母の七回忌法要を盛大に営みました。ご安心下さい。これからは、お父さんお母さん二人仲良く、私たち兄弟家族を優しく見守って下さい。

私もこの八月で七十歳になりますが、実は親父の記憶は何もありません。母の話によると、私が三歳の時、傷病兵として一時帰国した時が最後だったそうです。家に飾ってある古ぼけた兵隊姿の写真、そして伊豆方面の病院での入院姿の写真が私の知っている親父の姿です。小学校・中学校の頃ですが、友達が父親に向かって「親父」と呼んでいる姿がとても羨ましく寂しい思いをしました。一度でいいから「親父」と呼んでみたかった。この年になっても思いは同じです。

親父が育った田舎は、今は昔の面影がなくなりました。親父とお母さんが丹精に耕した田圃は高速道路のインターチェンジに変わり、近くには大型ショピングセンターができて多くの人が訪れています。住居も村から市となり近所は沢山の家もお出来ました。親父が帰ってきたらさぞ驚くことでしょう。

都会に出てから半世紀が過ぎました。田舎に残した母に親孝行が出来なかったことは申し訳なく思っています。今日は母と兄弟の写真、私たち家族の写真、故郷の小川の水とお米、そしてお父さんの大好きなお餅をお持ちいたしました。後でゆっくり召し上がって下さい。

合掌

父の戦没した延吉陸軍第一病院の跡地に立つ橋本さん

―あとがき

この度の慰霊友好親善訪問団には、北海道から九州まで全国の遺児四十二名が参加いたしました。集合場所である九段会館に着いて先ず驚いたのが、平均年齢六十九歳とは思えない位、参加された遺児の皆様が元気なことでした。

今回の旅は親父の歩んだ道、父の眠る道を巡る大陸の旅でした。牡丹江省では一日に五百kmのバスの移動でしたが、当時の兵隊さんの苦労を思えば誰一人文句を言う人はいません。

しかし、終戦から六十五年の歳月は当時の面影を徐々に消しつつあります。巡拝最初の訪問地・奉天省にある旧陸軍病院は半分壊されていました。想像を絶した戦争の記憶は現実に消えつつあり、親父の眠る延吉の陸軍第一病院も現在は新しい建物になっていました。少し残念でしたが、当時ここに建っていた病院の姿を頭の中でイメージし親父の姿を重ねました。本当に本当に良かった。参加者の皆様の思いも同じでしょう。

毎日雑務に追われ、何の下調べもしないで訪問団に参加しましたが、親父の所属した部隊の動き、その他多くの資料を日本遺族会で調査していただき誠にありがとうございました。そして、各関係者からの心くばりをいただき安心して慰霊の旅を続けることができました。

戦没者の遺児の方々も高齢化が進んでいます。一刻も早く、一人でも多くの遺児の皆様が親父の眠る地を訪問されることを願います。

遺族会の動き

平成二十二年九月行事表

1日　津山市遺族連合会護國神社参拝・研修旅行（山口県方面）一泊
7日　中国・四国ブロック遺族会会議（鳥取県）一泊
高梁市成羽地区遺族会護國神社参拝（県護國神社）
14日　倉敷市玉島遺族連合会研修旅行（兵庫・宮崎県方面）二泊
16日　新公益法人への移行に関する研修会（九段会館）
17日　瀬戸内市遺族連合会女性部会議（瀬戸内市中央公民館）
20日　「敬老の日」県連盟老人福祉事業／身寄りのない父母・一人暮らしの妻慰問（県下）
22日　玉野市戦没者追悼式（玉野市民会館）
25日　県連盟老人福祉事業／百歳ご遺族御祝（二日間）
岡山市瀬戸遺族連合会靖國神社参拝・研修旅行（東京・岐阜県方面）二泊
26日　総社市遺族連合会靖國神社参拝・研修旅行（千葉県方面）一泊
28日　笠岡市笠岡地区戦没者慰霊祭（吉祥院）

平成二十二年十月行事表

1日　浅口市戦没者追悼式（浅口市中央公民館）
岡山市西大寺遺族連合会研修旅行（和歌山県方面）一泊
2日　津山市戦没者追悼式（津山総合体育館）
5日　県戦没者秋季慰霊祭（県護國神社）
6日　県護國神社秋季慰霊大祭（県護國神社）
7日　岡山県総合社会福祉大会（岡山市民会館）
日遺支部事務局長・職員研修会（鹿児島県）一泊
8日　倉敷市戦没者追悼式（倉敷市民会館）
12日　県連盟女性部平成22年度第一回研修会（神戸市内）
13日　笠岡市真鍋島地区戦没者慰霊祭（円福寺）
14日　新見市神郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
15日　新見市大佐地区戦没者追悼式（おおさ総合C）
18日　赤磐市戦没者遺族大会（くまやまふれあいC）
靖國神社秋季例大祭（靖國神社）20日まで
千鳥ケ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭（東京・千鳥ケ淵戦没者墓苑）
19日　笠岡市神島内地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
22日　新見市哲多地区戦没者慰霊祭（哲多総合C）
笠岡市神島外地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
23日　笠岡市勝山支部戦没者慰霊祭（県護國神社）
真庭市大井地区戦没者慰霊祭（大井公民館）
25日　笠岡市大井地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
26日　英田郡西粟倉村戦没者慰霊祭（県護國神社）
27日　笠岡市陶山地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
28日　井原市井原支部遺族会研修旅行（奈良県）一泊
笠岡市新山地区戦没者慰霊祭（新山忠魂碑）
笠岡市北川地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
久米郡美咲町戦没者慰霊祭（県護國神社）
29日　笠岡市今井地区戦没者慰霊祭（今井小学校体育館）
30日　津山市高田地区戦没者慰霊祭（下横野・高田神社）
31日　美作市湯郷地区遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）

平成二十二年十一月行事表

3日　新見市石蟹郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
5日　新見市豊永地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
12日　「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝（沖縄県）二泊
16日　井原市遺族連合会研修会（真備町・マービーふれあいC）
20日　笠岡市白石島地区戦没者慰霊祭（開龍寺）
28日　岡山県戦没者遺族代表者大会（岡山衛生会館）